

令和3年度第1回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 府中市行政管理部建築施設課

公共施設マネジメント担当 野口 凌太

開催日時 令和4年1月28日（金） 午後2時から午後4時30分まで

開催方法 オンライン（Webex Meetings）

参加者数 41人（※オンライン参加申込者数）

内容報告

1 講演「今改めて考える、まちの資産とマネジメントの進め方～公共施設再編の市民ワークショップからわかること、教わること～」

講師 東京都立大学 都市環境学部 建築学科 助教 讃岐 亮 氏

東京都立大学 助教の讃岐氏から、これまで多くの自治体で市民ワークショップの運営に携わってきた経験を踏まえ、行政側が何を心得、どのように計画に反映していくべきかをテーマにご講義いただきました。

多くの自治体が抱えている公共施設の更新に係る課題の解決にあたり、公共施設マネジメントで目指すべきものとしては、「財政の健全化」、「市民活動の安全」、「サービスの向上とまちづくり」が重要であり、公共施設を資産と捉えた発想が、コスト縮減や稼ぐこと、安全性の確保、更なる施設の活用に繋がるとお話いただきました。ほかにも、講師の考える市民ワークショップの分類分けやそれぞれから得られる成果、市民側への情報の出し方や進め方など、幅広く講演を頂き、参加団体としても今後の取組の参考となる知見を得ることが出来ました。

①-3 事業化型WSの特徴

- 多摩2018
 - 初回に対象施設見学：雰囲気醸成にも、議論を深めるにも、絶大な効果があった。
- 相模原2021
 - 光が丘地区で将来に閉鎖が見込まれる小学校を対象に、施設をどう生かしていくか、をテーマとしたWSを開催中。
 - 第2回で施設見学：同様に和気あいあいと実施。

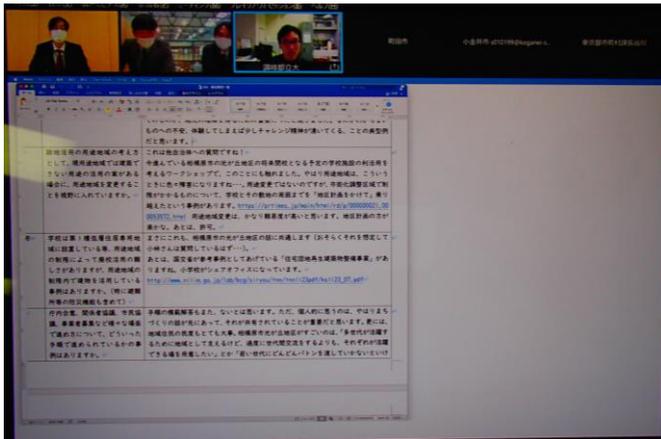
事業化を見据えるなら、WSでも議論は具体的にしたい。実際に施設を訪れて体験してもらうことは、イメージ具体化にも雰囲気醸成にもとても効果的！

↑ 讃岐都立大 Q

2 事前質問への回答

後半は、参加者から事前に募集した質問事項に対して、讃岐氏からコメントをいただきました。

事前質問では、特に公共施設の統廃合等に伴う跡地の活用に関する質問が多くあり、最新の事例を踏まえた実践的な取組など、具体的にお示しいただきながらご説明いただきました。各自治体が抱えている課題には共通する部分も多くあることから、それぞれの抱える課題や取組状況をもとに講師からコメントをもらうことで、効果的に情報共有を図ることができました。



3 その他

終了後のアンケートでは、讚岐氏の講演について、「今後の市民参加の方法を検討しているところだったので、非常にタイムリーな内容でした。」「ワークショップでのグループ分けなど、大変参考になりました。」「ポスターセッションやグラフィックレコーディング等、とても勉強になりました。」など、今後の取組の参考になったという意見を多くいただきました。

また、事前質問への回答については、「市によって取組の進捗状況が異なっていることが分かりました。」「各市抱えている課題はある程度共通している部分も多いと思いますし、当市の今後の取組にあたっての参考になりました。」など、自治体同士で共通した悩みが多くある中で、情報を共有することによって、今後の取組の参考になったという意見を多くいただき、各自治体が抱えている悩みについて情報交換したいという需要に応えられたと考えています。

今回は、多摩地域会では初のオンライン開催で、これまでに無い形式での開催でしたが、今後も開催方法については、需要を踏まえながら、さらに工夫をしていきたいと思えます。

今後も、FMの取組を進める各団体の活発な連携や情報共有の助けとなるよう、引き続き多摩地域会を開催したいと考えております。みなさまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。